

# 對馬康夫コレクション蝶類目録(1)ヒメギフチョウ<sup>1)</sup>

太田正文<sup>2)</sup>・片山卓思<sup>3)</sup>

A list of Lepidoptera(*Luehdorfia puziloi*) in the TUSHIMA Yasuo Collection at the Aomori Prefectural Museum

OTA Masafumi and KATAYAMA Takashi

キーワード：對馬康夫コレクション目録, 昆虫標本, チョウ類, ヒメギフチョウ

## はじめに

對馬康夫コレクションは、對馬康夫氏(1949-2021)が1970年代の後半から40年以上にわたって、自らが採集したチョウ類を中心とする昆虫標本である。このコレクションは、大型ドイツ箱60箱、約7,000点の資料から成り、令和4(2022)年に、ご遺族から当館へご寄贈いただいた。

對馬康夫氏は、水質検査の専門家として青森市下水道部に永年にわたり勤められた方である。当館との関係も深く、平成7(1995)年から平成11(1999)年まで当館が行った下北丘陵自然調査では、湖沼の水質調査を担当していただいた。また、令和2(2020)年の秋に当館が開催した「鷹山宇一とチョウの世界」展では、七戸町立鷹山宇一記念美術館における特別展で、氏が制作した作品を提供して下さるなど、全面的に協力をいただいた。

チョウ類コレクションの内容は、多くが青森県産であり、一部県外やモンゴルなど海外産も含んでいる。そして最大の特徴は、ヒメギフチョウの個体数が特に多く、コレクションの約4分の1に当たる15箱に及ぶことである。それは、1980年代後半から、県内のヒメギフチョウは出現場所がめまぐるしく変化する興味深いチョウとして知られていて、對馬氏は、その分布の変遷を長年にわたって追いかけてきたためである。多数の標本は、それを証拠づけるものとして残されたのである。今回、この目録にはそれらの標本を載せた。

そのほかのコレクションの特徴としては、近年全国的に減少著しい湿草原性のゴマシジミを多数含むことであり、県内の主な生息地別に集められている。また、森林性シジミチョウであるゼフィルスのコレクションが充実していることなどが挙げられる。これらは本県産チョウ類相の特徴を表したものであり、さらに、青森市とその周辺における40数年間のチョウ類相の変化をたどることができるものとして貴重なものである。また、コレクションには、チョウ以外にオサムシ、コメツキ、カミキ

りなどの甲虫類、ハチ類などを数箱含んでおり、多彩な内容となっている。

この目録を作成するに当たっては、片山が標本データの読み取りと書き写しを行い、太田が採集記録の分析と考察を行った。また、日本鱗翅目学会の工藤忠評議員には本文を通読いただき助言をいただいた。この場を借りて厚く感謝申し上げる。

なお、對馬康夫コレクションの残りの標本については、整理が出来次第順次目録として公表する予定である。

## 1 ヒメギフチョウ *Luehdorfia puziloi* について

ヒメギフチョウは、スプリングエフェメラル(春の命)として知られ、年1回、本県では通常4月上旬から5月下旬まで見られる。食草は、県内ではウマノスズグサ科のトウゴクサイシンのほか、オクエゾサイシンも知られる。国内分布は北海道(亜種*yessoensis*)と本州(東北・中部地方、亜種*inexpecta*)で、国外ではアムール(原名亜種)、朝鮮半島に産する(白水, 2006)。

## 2 對馬康夫氏によるヒメギフチョウの分布変遷

県内で初めてヒメギフチョウ(以降、ヒメギフと表記)を採集したのは下山健作氏(1909~1989)で、昭和24(1949)年5月9日及び5月17日、平賀町(現平川市)の温川付近であった(下山, 1982)。程なく、黒石市二庄内とその周辺、平賀町(現平川市)矢捨山周辺などが産地として知られ、同地では発生が継続していた。津軽地方では他にも大鰐町三ツ目内、西目屋村暗門、浪岡町(現青森市)梵珠山などで記録があったが、いずれも散発的な発生で終わっていた。

對馬氏がヒメギフを最初に採集したのは1976年、平川市の矢捨山(唐竹)においてである(以下、表1を参照されたし)。1978年と1980年には飼育にも力を入れられており、ヒメギフの魅力にはまったようである。その後1983年まで唐竹で採集を継続し、隣接する黒石市でも

1) 對馬康夫コレクション収蔵目録(1) 2) 青森県立郷土館ゲストキュレーター(〒036-8357弘前市馬屋町22-5)  
3) 青森県立郷土館研究員(〒030-0802青森市本町2丁目8-14)

1980年から採集を始め、1988年まで続いたが、その後途絶えた。どういう訳か、80年代の終わりに、黒石市や平川市からヒメギフが消えてしまったと思われる。

このように既存の産地で姿を消す頃、代わって姿を見せたのは、黒石市から一つ山を超えた北側の、青森市入内、合子沢、雲谷の各地区で、それが1986年だ。しかし、これらの地区での発生は長く続かず、1990年位に一旦姿を消してしまった。なぜ短い期間にヒメギフの生息地が変わるのか、それはどういうメカニズムなのか。強く関心を抱いた對馬氏は、毎年春を待ってあらゆる余暇の時間を使って、ヒメギフの分布の変化を追いかけるようになった。ただし、1993年後の5年間は、標本が見当たらない。その間ヒメギフが捕獲できなかったのか、探求を休止していたのかははっきりしない。

続く2000年頃から、ヒメギフを追う對馬氏の足跡は、合子沢以外では、青森市の中央部から東部へと次第に移っていった。そして2000年からのほぼ10年間、主要な採集地は東岳から浅虫にかけての市街近郊の低山地となった。青森市の東隣、平内町で記録が始まるのは、2005年、浅虫に隣接する田茂木である。記録は次第に広がり、2016年位からは夜越山を含めた平内町の各所に一

気に広がった様子が見て取れる。

對馬氏のデータで見逃せないのは、発生が一旦途絶えた青森市入内で、約20年ぶりの2019年から再び出現したことである。同じことは水源地(横内)でも見える。

消滅、移動、復活とめまぐるしい分布の変遷はどういう理由で起こるのか。それは、幼虫や成虫の食餌植物の増減や環境変化だけで説明がつくのか、どうもそれだけでは説明がつかないようだ、などと、對馬氏が話すのを、親交のあった太田は聞いたことがある。

ヒメギフが消えた産地に、再び出現する現象は、実は黒石市二庄内でも起こっていて、2016年からの報告がなされている(上原, 2020a)。青森市入内については2018年からの報告(小館, 2023)もあるが、本目録の趣旨から外れるので深入らない。県内での最近のヒメギフの分布動向については、上原一恭(2016・2017・2019a・2019b・2019c・2020b・2022)、小館昭示(2019・2022)、三橋渡(2016)等の報告に詳しいので、そちらを参照いただきたい。

津軽地方のヒメギフには、日本海側の秋田県境に近い深浦町大間越にも産地があることを付記しておく。

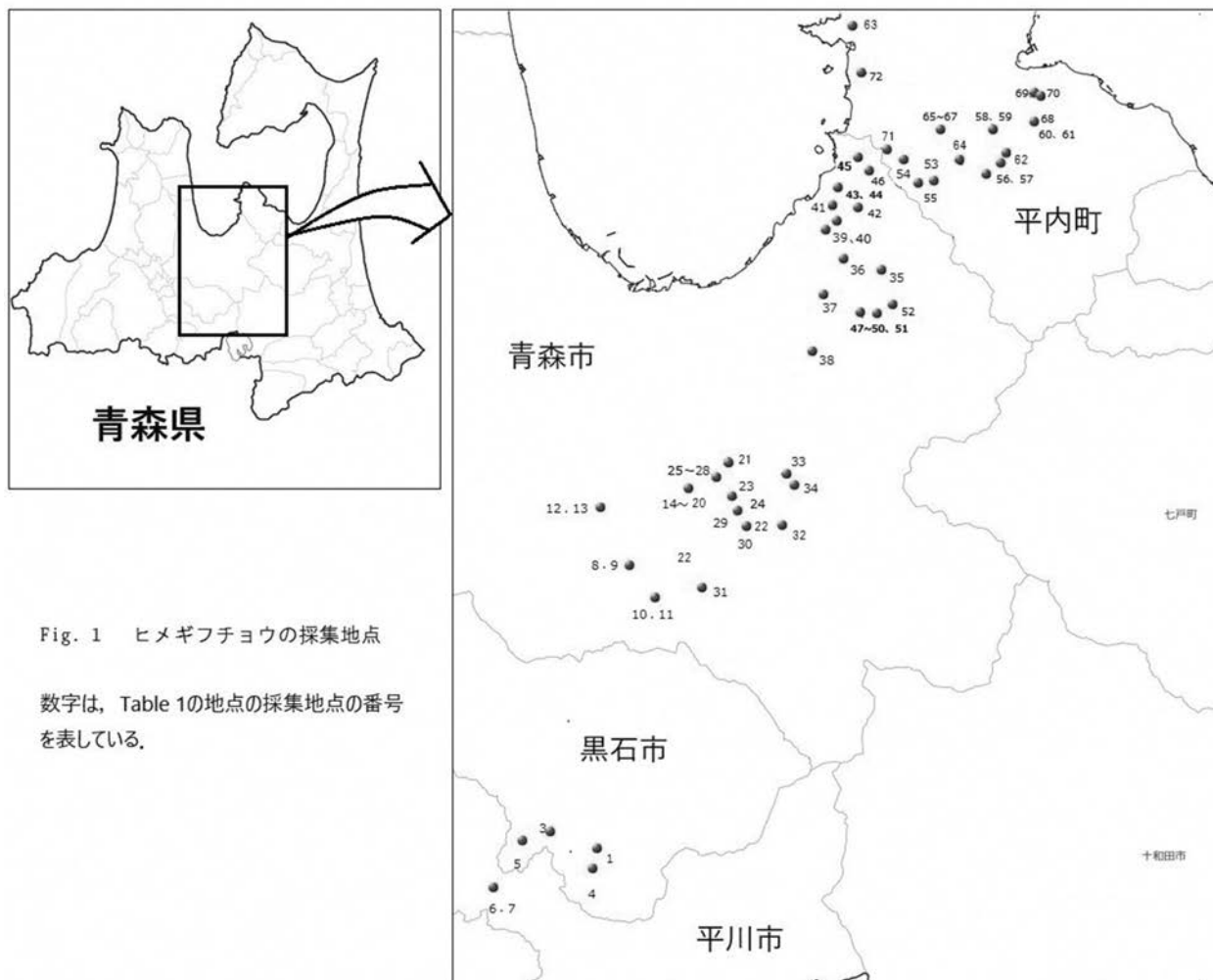


Fig. 1 ヒメギフチョウの採集地点  
数字は、Table 1の地点の採集地点の番号を表している。

Table 1 採集地点と採集年の関係 (2桁の数字は西暦の年号の下2桁を表している)

No.	採集地点名	出現期	76	78	80	82	84	86	88	90	92	94	96	98	00	02	04	06	08	10	12	14	16	18	20
1	黒石市二庄内 (雷山北斜面)	80~86			○		○	○																	
2	黒石工所内	86						○																	
3	黒石市沖浦虹の湖周辺	86~87						○																	
4	黒石市沖浦	80~87			○			○																	
5	黒石市貝吹山	88							○																
6	平川市矢捨山	79~83		○																					
7	平川市矢捨山 (唐竹)	76~83	○	○	○	○																			
8	青森市入内	88~19							○																○
9	青森市入内上	19																							○
10	青森市入内石神上	86~87						○																	
11	青森市入内石神下	86~89						○	○																
12	青森市入内小金	20~20																							○
13	青森市入内小金山神社	87~19						○	○																○
14	青森市合子沢	00~01													○										○
15	青森市合子沢上	87~19						○	○					○			○	○		○	○	○	○	○	○
16	青森市合子沢中	08~20																○	○						○
17	青森市合子沢下	87~89						○	○																○
18	青森市合子沢A	04															○								
19	青森市合子沢B	01													○										
20	青森市八甲田牧場	10~19																		○				○	○
21	青森市水源地 (雲谷)	20																							○
22	青森市水源地 (横内)	16~19																							○
23	青森市雲谷スキーグラウンド	86~16						○	○																○
24	青森市雲谷ゲレンデ	93								○															
25	青森市雲谷平 (水源地)	87~89						○	○																
26	青森市雲谷~合子沢	89							○																
27	青森市雲谷平A	90~90								○															
28	青森市雲谷平B	90~01								○					○										
29	青森市雲谷峠	89~17							○								○	○							○
30	青森市岩木山展望所	17~20																							○
31	青森市荒川下湯ダム	19																							○
32	青森市鉢森山	17~18																							○
33	青森市小峠	10~18																		○	○	○	○	○	○
34	青森市大峠	08~18																			○				○
35	青森市東岳	05																							
36	青森市矢田	04																		○					
37	青森市高山	93									○														
38	青森市田頭山	19~20																							○
39	青森市片越山 (矢田)	05~17																		○	○	○	○	○	○
40	青森市片越山	17~20																							○
41	青森市久栗坂	01~01													○										
42	青森市久栗坂根井	05~18																		○	○	○	○	○	○
43	青森市根井	17~20																							○
44	青森市久栗坂・浅虫	07~07																							○
45	青森市浅虫	02~19																		○					○
46	青森市浅虫増田	07~18																		○	○	○	○	○	○
47	青森市滝沢	02																		○					
48	青森市滝沢配水池上	07~17																							
49	青森市滝沢小川目沢	93~16									○														
50	青森市滝沢A	05~20																							○
51	青森市滝沢B	02~20																		○	○				○
52	青森市滝沢月光の滝	06~08																							
53	平内町田茂木 (内童子)	07~16																		○	○				○
54	平内町田茂木	05~20																							○
55	平内町田茂木高地山	18																							○
56	平内町内童子 (引ノ越山北)	16~17																							○
57	平内町内童子 (山館)	08~17																							○
58	平内町山館 (内童子)	10~10																							○
59	平内町山館 (鍋森山)	13~14																							○
60	平内町鍋森山西	15~18																							○
61	平内町鍋森山	19																							○
62	平内町引ノ越北	17~20																							○
63	平内町茂浦	16																							○
64	平内町前高森山	19																							○
65	平内町流山 (山口)	18																							○
66	平内町流山 (増田)	17~17																							○
67	平内町流山	17~20																							○
68	平内町夜越山ゲレンデ	16~16																							○
69	平内町夜越山小湊	17~18																							○
70	平内町夜越山	19																							○
71	平内町高森山北	19																							○
72	平内町浪打山	18~18																							○
73	岩手県御所ダム	89							○																
74	岩手県下関伊那安家	84~86						○	○																

## 3 對馬康夫コレクション・ヒメギフチョウ目録

本目録の種名は、学研「日本産蝶類標本図鑑」(白水隆著、2006)に準拠した。目録の内容は、種名に続けて、採集地(個体数、採集年月日、採集者、[収蔵番号])の順に記載した。採集地は、青森県内の場合は市町村名から記載し、旧市町村名は現市町村名に変えた。県外の場合は道府県名から記載し、旧市町村名はそのまま記した。採集者名は、對馬康夫氏本人の場合は省略し、その他の場合はラベルに記載している名前を記した。これらの標本の収蔵番号は、正式には親番号の[AOPM 2479-]に続く子番号とともに表されるが、ここでは親番号を省略し、子番号のみを[ ]内に記した。また、同じ採集地に複数の日付の採集品がある場合は「;」を挟んで並記した。

Lepidoptera鱗翅目

Papilionidaeアゲハチョウ科

*Luehdorfia puziloi inexpecta* Sheljuzhko, 1913

ヒメギフチョウ 本州亜種

青森市浅虫(1♂, 2002.4.5, [1]; 3♂, 2015.3.31, [2~4]; 1♀, 2015.3.31, [5]; 1♂, 2017.4.2, [6]; 1♂, 2019.4.29, [7]), 青森市浅虫増田(2♂, 2007.4.12, [8~9]; 4♂, 2007.4.18, [10~13]; 1♂, 2008.6.6, [14]; 8♂, 2008.6.20, [15~22]; 1♀, 2008.6.20, [23]; 3♂, 2010.4.26, [24~26]; 1♀, 2011.6.26, [27]; 3♂ 2013.4.23, [28~30]; 1♂, 2013.4.25, [31]; 6♂ 2014.4.13, [32~37]; 1♀, 2014.4.19, [38]; 4♂, 2016.4.2, [39~42]; 11♂, 2016.4.5, [43~53]; 5♂, 2017.4.6, [54~58]; 8♂, 2017.4.7, [59~66]; 1♀, 2017.4.7, [67]; 1♂, 2018.4.10, [68]), 青森市岩木山展望所(1♂, 2017.4.29, [69]; 1♂, 2017.5.1, [70]; 2♂, 2020.5.3, [71~72]), 青森市大峠(5♂ 1♀, 2008.4.26, [73~78]; 3♀, 2014.5.11, [79~81]; 1♂ 2015.5.1, [82]; 1♂ 2016.5.9, [83]; 1♂, 2017.4.30, [84]; 1♂, 2017.5.3, [85]; 1♂, 2017.5.7, [86]; 1♂, 2018.4.28, [87]; 2♂ 1♀, 2018.4.30, [88~90]; 5♂, 2018.5.6, [91~95]; 2♀, 2018.5.6, [96~97]), 青森市久栗坂(10♂, 2001.4.21, [98~107]; 3♀, 2001.4.21, [108~110]; 2♂, 2001.4.22, [111~112]), 青森市久栗坂根井(1♀, 2005.4.30, [113]; 6♂, 2006.4.26, [114~119]; 1♀, 2006.4.26, [120]; 9♂, 2008.6.4, [121~129]; 2♂, 2010.4.24, [130~131]; 1♀, 2010.4.26, [132]; 1♀, 2017.4.14, [133]; 1♂, 2018.4.16, [134]; 6♂, 2018.6.16, [135~140]; 2♂, 2018.6.18, [141~142]), 青森市根井(12♂ 2017.4.14, [143~154]; 2♂ 1♀, 2019.4.16, [155~157]; 3♂, 2020.4.4, [158~161]), 青森市久栗坂-浅虫(1♂, 2007.4.12, [162]; 2♂, 2007.4.18, [163~164]; 2♀, 2007.4.18, [165~166]), 青森市合子沢(2♂, 2000.4.29, [167~168]; 1♂, 2001.4.30, [169]), 青森市合子沢上(1♂, 1987.4.10, 飼育[170]; 3♂, 1989.4.27, [171~173]; 1♀, 1989.4.27, [174]; 5♂, 1998.4.17, [175~179]; 1♀, 1998.4.17, [180]; 8♂, 1998.4.18, [181~188]; 5♂, 2007.5.4, [189~193]; 1♀, 2007.5.4, [194]; 6♂, 2008.4.22,

[195~200]; 4♂, 2010.5.4, [201~204]; 1♀, 2013.5.14, [205]; 2♂, 2014.5.11, [206~207]; 6♂, 2015.4.27, [208~213]; 4♂, 2016.4.23, [214~217]; 3♂, 2016.4.24, [218~220]; 1♂, 2016.5.2, [221]; 2♂, 2017.4.29, [222~223]; 1♂, 2017.5.4, [224]; 1♂, 2018.5.1, [225]; 1♂, 2019.5.8, [226]; 1♀, 2019.5.8, [227]; 1♂, 2019.5.10, [228]; 1♀, 2019.5.10, [229]; ), 青森市合子沢中(1♀, 2008.4.22, [230], 3♂, 2019.5.8, [231~233], 1♂, 2020.4.21, [234]), 合子沢A(1♂, 2004.5.5, [235]), 青森市合子沢B(2♂, 2001.4.28, [236~237]), 青森市合子沢下(1♀, 1987.4.21, [238]; 4♀, 1987.4.22, 飼育[239~242]; 6♂, 1987.4.23, [243~248]; 2♀, 1987.4.23, [249~250]; 1♀, 1987.4.23, [251] 飼育; 1♂, 1988.3.27, 飼育[252]; 1♂, 1988.4.13, [253]; 3♂, 1989.4.14, [254~256]; 1♂, 1988.4.18, [257]; 2♂, 1989.4.14, [258~259]), 青森市小峠(3♂, 2010.5.5, [260~262]; 1♂, 2011.5.8, [263]; 2♀, 2013.5.17, [264~265]; 7♂ 2014.5.11, [266~272]; 5♂ 2015.5.1, [273~277]; 4♂ 2016.5.2, [278~281]; 5♂ 2016.4.24, [282~286]; 1♂, 2017.4.30, [287]; 5♂, 2017.5.3, [288~292]; 1♀, 2018.4.30, [293]; 5♂, 2018.5.1, [294~298]), 青森市水源地(雲谷)(3♂ 2020.4.17, [299~301]), 青森市水源地(横内)(10♂, 2016.4.22, [302~309]; 9♂, 2018.4.27, [310~318]; 1♂, 2019.4.29, [319]), 青森市片越山(矢田)(5♂, 2005.5.3, [320~324]; 3♀, 2005.5.3, [325~327]; 5♂, 2008.6.6, [328~332]; 2♂, 2010.4.26, [333~334]; 2♀, 2013.5.9, [335~336]; 5♂, 2014.4.14, [337~341]; 5♂, 2014.4.18, [342~346]; 3♂, 2015.4.9, [347~349]; 6♂, 2015.4.23, [350~354]; 1♂, 2016.4.9, [355]; 5♂, 2016.4.10, [356~370]; 1♂, 2017.4.8, [371]; 5♂, 2017.4.9, [372~376]), 青森市片越山(5♂, 2017.4.14, [377~381]; 15♂, 2017.4.23, [382~394]; 1♀, 2019.4.17, [395]; 2♀, 2019.4.29, [396~397]; 1♂ 2♀, 2020.4.13, [398~400]), 青森市滝沢(2♀, 2002.4.20, [401~402]), 青森市滝沢配水池上(23♂, 2007.4.24, [403~425]; 3♀, 2007.4.24, [426~428]; 1♂, 2010.5.2, [429]; 2♂, 2011.5.5, [430~431]; 1♀, 2011.5.5, [432]; 1♂, 2011.6.20, [433]; 5♂, 2013.5.9, [438~442]; 5♂, 2014.5.4, [443~447]; 3♂ 2014.4.26, [448~450]; 2♂, 2015.4.12, [451~452]; 2♂, 2015.4.25, [453~454]; 6♂, 2016.4.26, [455~460]; 2♀, 2016.4.26, [461~462]; 1♂, 2017.4.16, [463]), 青森市滝沢小川目沢(3♂, 1993.4.20, Ito Susumu, [464~466]; 1♀, 1993.4.20, Ito Susumu, [467]; 4♂, 1993.4.21, Ito Susumu, [468~471]; 1♀, 1993.4.21, Ito Susumu, [472]; 2♂, 1993.4.29, Ito Susumu, [473~474]; 4♀, 1993.4.29, Ito Susumu, [475~478]; 1♀, 1993.5.8, Ito Susumu, [479]; 1♀, 1993.5.22, Ito Susumu, [480]; 1♀, 1993.5.24, Ito Susumu, [481]; 1♂, 2014.4.27, [482]; 6♂, 2015.4.9, [483~488]; 4♂, 2015.4.13, [489~492]; 3♂, 2016.4.10, [493~495]; 5♂, 2016.4.12, [496~500]),



青森市高山 (1♂, 1993.4.20, Ito Susumu, [501]), 青森市滝沢A (4♂, 2005.5.3, [502~505]; 2♀, 2005.5.3, [506~507]; 7♂, 2017.4.17, [508~514]; 1♂, 2019.4.17, [515]; 1♀, 2019.4.17, [516]; 1♂, 2020.4.8, [517]), 青森市滝沢B (3♂, 2002.4.20, [518~520]; 1♂2002.4.23, [521]; 12♂2004.4.18, [522~533]; 2♀, 2002.4.18, [534~535]; 3♂, 2017.4.14, [536~538]; 4♂, 2017.4.17, [539~542]; 4♂, 2018.4.21, [543~546]; 3♂, 2019.4.20, [547~549]; 7♂, 2019.4.29, [550~556]; 2♂, 2020.4.13, [557~558]), 青森市滝沢月光の滝 (1♂, 2006.4.26, [559]; 5♂, 2007.4.18, [560~564]; 1♂, 2008.4.9, [565]), 青森市東岳 (2♂, 2005.5.3, [566~567]), 青森市鉢森山 (10♂, 2017.5.4, [568~577]; 1♂, 2018.4.30, [578]), 青森市入内 (1♂, 1988.5.4, [579]; 3♂, 2019.4.29, [580~582]; 1♀, 2019.4.29, [583]), 青森市入内上 (1♀, 2019.5.9, [584]), 青森市入内石神上 (6♂, 1986.6.4, [585~590]; 5♀, 1986.6.4, [591~595]; 1♀, 1987.6.23, 飼育[596]; 2♀, 1987.5.24, [597~598]), 青森市入内石神下 (7♂, 1986.5.5, [599~605]; 2♂, 1986.5.10, [606~607]; 2♂, 1989.4.30, [608~609]), 青森市入内小金 (6♂2020.4.17, [610~615]; 2♀, 2020.4.17, [616~617]), 青森市入内小金山神社 (2♀, 1987.4.22, [618~619]; 2♀, 1987.6.22, 飼育[620~621]; 10♂, 1988.5.4, [622~631]; 16♂1♀, 1989.4.14, [632~648]; 1♂, 1989.6.14, [649]; 1♂, 2019.4.22, [650]; 1♂, 2019.5.3, [651]), 青森市八甲田牧場 (4♂, 2010.5.5, [652~655]; 2♂, 2017.5.7, [656~657]; 4♂, 2018.5.1, [658~661]; 2♂, 2018.5.7, [662~663]; 1♀, 2018.5.7, [664]; 1♂, 2019.5.11, [665]; 1♀, 2019.5.13, [666]), 青森市雲谷スキーグラウンド (2♂, 1986.5.13, [667~668]; 1♀, 1987.4.22, 飼育[669]; 1♀, 1987.4.23, 飼育[670]; 4♂, 1987.4.30, [671~674]; 2♀, 1987.4.30, [675~676]; 1♂, 1989.4.8, 飼育[677]; 2♀, 1989.4.13, 飼育[678~679]; 1♂, 1989.4.16, 飼育[680]; 1♂, 1989.4.16, [681]; 7♂, 2016.5.3, [682~688]), 青森市雲谷平 (水源地) (1♀, 1987.4.30, [689]; 1♂, 1987.4.27, [690]; 1♀, 1987.4.27, [691]; 1♂, 1987.4.28, [692]; 1♀, 1987.4.30, [693]; 2♂, 1989.4.15, [694~695]; 7♂, 1989.4.18, [696~702]; 1♂, 1989.6.19, [703]), 青森市雲谷~合子沢 (1♂, 1989.4.27, [704]), 青森市雲谷平A (1♂, 1990.4.27, [705]; 1♀, 1990.5.16, [706]), 青森市雲谷平B (5♂, 1990.4.27, [707~711]; 2♂, 2001.4.30, [712~713]), 青森市雲谷ゲレンデ (2♂, 1993.5.7, Ito Susumu, [714~715]), 青森市雲谷峠 (1♂, 1989.4.13, 飼育[716]; 1♀, 2004.5.5, [717]; 1♂, 2007.5.3, [718]; 5♂, 2017.5.1, [719~720]), 青森市田頭山 (2♂, 2019.4.14, [721~722]; 1♀, 2019.4.14, [723]; 5♂, 2019.4.24, [724~728]; 4♂, 2020.4.7, [729~732]), 青森市荒川下湯ダム (1♂, 2019.5.3, [734]), 青森市矢田 (9♂, 2004.4.11, [735~743]), 青森県黒石市二庄内 (雷山北斜面) (3♀, 1980.5.8,

[744~746]; 9♂, 1981.4.26, [747~755]; 2♀, 1981.4.26, [756~757]; 13♂, 1985.4.10, 飼育[715~726]; 9♀, 1985.4.10, 飼育[758~766]; 7♂, 1985.4.28, [767~773]; 11♂, 1986.5.5, [774~784]; 1♀, 1986.5.5, [785]; ), 黒石工所内 (2♂, 1986.5.7, 対馬鉄コ, [786~787]) 黒石市沖浦虹の湖周辺 (10♂, 1986.5.3, [788~789]; 3♂, 1986.5.5, [790~792]; 3♂, 1987.4.19, [793~795]; ), 黒石市沖浦 (1♀, 1980.5.8, [796]; 3♀1986.5.3, [797~799]; 1♀1987.4.19, [800]), 黒石市貝吹山 (5♂, 1988.4.17, [801~805]), 平川市矢捨山 (1♂1♀, 1979.4.28, [806~807]; 1♂1♀, 1979.4.29, [808~809]; 1♂, 1983.4.24, [810]), 平川市矢捨山 (唐竹) (1♂1976.5.3, [810]; 4♀1976.5.3, [811~814]; 1♀1976.5.4, [815]; 4♀1977.5.23, [816~819]; 16♂1977.4.23, [820~835]; 3♂1978.5.5, [836~838]; 7♂1978.4.17, 飼育[839~845]; 2♂1978.4.18, 飼育[846~847]; 1♂1978.4.19, 飼育[848]; 3♂1978.4.20, 飼育[849~851]; 1♂1978.4.22, 飼育[852]; 2♂1978.4.24, 飼育[853~854]; 1♂1978.4.27, 飼育[855]; 2♂1978.4.28, [856~857]; 1♂1978.4.30, [858]; 1♂1980.5.12, [859]; 1♀1980.5.12, [860]; 2♂1980.4.20, 飼育[861~862]; 2♂1980.4.21, 飼育[863~864]; 1♂1980.4.26, 飼育[865]; 1♂1980.4.20, [866]; 6♂1981.4.25, [867~872]; 1♀, 1981.4.25, [873]; 1♂, 1983.4.23, [874]; 1♀, 1983.4.23, [875]), 平内町内童子 (山館) (5♂, 2008.6.13, [876~880]; 1♂1♀, 2011.6.30, [881~882]; 2♂, 2015.4.10, [883~884]; 3♂, 2017.4.16, [885~887]), 平内町山館 (内童子) (1♂, 2010.5.2, [888]; 1♂, 2010.4.24, [889]), 平内町山館 (鍋森山) (1♂, 2013.6.23, [890]; 2♂2014.6.24, [891~892]), 平内町鍋森山西 (4♂2015.5.19, [893~896]; 10♂2016.6.16, [897~906]; 7♂, 2018.6.20, [907~913]), 平内町鍋森山 (2♂, 2019.4.17, [914~915]), 平内町田茂木 (内童子) (1♀, 2007.4.28, [916]; 1♂, 2008.6.13, [917]; ; 1♀, 2010.6.24, [918]; 3♂, 2011.6.30, [919]; 1♂, 2013.4.20, [920]; 3♂, 2016.6.16, [921~923]), 平内町田茂木 (6♂, 2005.4.29, [924~929]; 4♂, 2019.4.16, [930~933]; 3♂, 2019.4.17, [934~936]; 3♂, 2020.4.3, [937~939]; 1♂, 2020.4.5, [940]; 6♂, 2020.4.11, [941~946]), 平内町田茂木高地山 (9♂, 2018.4.17, [947~955]), 平内町内童子 (引ノ越山北) (1♂, 2016.4.8, [956]; 9♂, 2016.4.12, [957~965]; 3♂, 2017.4.11, [966~968]; 7♂, 2017.4.16, [969~975]; ), 平内町引ノ越北 (6♂2017.4.11, [976~981]; 1♂2017.4.16, [982]; 5♂, 2018.4.10, [983~987]; 6♂, 2018.4.13, [988~993]; 2♂1♀, 2018.4.20, [994~996]; 3♂, 2019.4.14, [997~999]; 6♂, 2019.4.17, [1000~1005]; 4♂, 2020.4.11, [1006~1009]), 平内町茂浦 (2♂2016.4.6, [1010~1011]), 平内町前高森山 (3♂2019.4.21, [1012~1014]), 平内町流山 (山口) (9♂2018.4.17, [1015~1023]), 平内町流山 (増田) (8♂2017.4.20, [1024~1031]; 3♂2017.4.21, [1032~1034]), 平内町流山

(3♂ 2017.4.20, [1035~1037]; 3♂, 2019.4.17, [1038~1040]; 2♂, 2020.4.11, [1041~1042]), 平内町夜越山ゲレンデ (3♂ 2016.4.16, [1043~1045]; 1♂ 2016.4.19, [1046]), 平内町夜越山小湊 (4♂ 2017.4.16, [1047~1050]; 6♂ 2018.4.17, [1051~1056]), 平内町夜越山 (2♂, 2019.4.17, [1057~1058]), 平内町高森山北 (2♂ 2019.4.21, [1059~1060]), 平内町浪打山 (6♂ 2018.4.10, [1061~1066]; 1♀ 2018.4.10, [1047]; 4♂ 2018.4.13, [1067~1070]), 岩手県御所ダム (1♂, 1989.4.7, 飼育 [1071]), 岩手県下関伊郡安家 (5♂, 1984.5.6, [1072~1076]; 3♀, 1984.5.6, [1077~1079]; 14♂, 1986.4.29, [1080~1093]; 6♀, 1986.4.29, [1094~1099]),

#### 4 對馬康夫氏を悼む

對馬康夫さんに初めてお目にかかったのは、20年以上前のことになる。その頃県立郷土館の職員だった私は、同僚であった對馬夫人を介して、チョウ仲間として出会っている。当時盛んにヒメギフを追いかけていた康夫さんは、初対面の私に、分布に関する新しい知見などを熱っぽく語ってくださったことをよく覚えている。チョウからしばらく離れていた私の耳には、彼の話すヒメギフや大発生したヒメシジミの話などはとても面白く、吸い込まれるように入ってきた。時折見せてくださった標本箱には、美しく展翅されたチョウたちが整然と並んでいて、器用な手先と几帳面な人となり垣間見えていた。

まるで兄貴のように接してくれた康夫さんが、私を荒川の源流である湧壺まで連れて行ってくれたことがある。ブナ林の斜面や藪中を歩く足の軽さと速さには驚いた。細身だが頑強な人、そういえば、康夫さんのタフさは並のものではなかった。長期間マラソンを趣味として、各種大会にも出場する健脚の持ち主であった。一度青森市のパイブリッジを、颯爽と走りおりてくる姿に応援を送ったことがある。

退職してからの康夫さんは、夫人が手伝っていた七戸町立鷹山宇一記念美術館で、寄贈された世界のチョウの整理を行っていた。そのうち、無類のチョウ好きとして知られた鷹山宇一画伯の作品を、実物のチョウを用いて再現して、絵画に新たな息吹を与える技法を考え出した。康夫さんのこのアイデアは人々の関心を引き、記念に行われた特別展では大きな反響を呼んだ。

展示以外でも康夫さんの活躍は大きかった。美術館の支援者や地元の子どもたちをも巻き込んだ“ちょうちょクラブ”を作ったことである。ちょうちょ探索や調査を頻繁に行って、チョウの魅力を広め、自然への関心を呼び起こす効果はとても大きかった。美術館では、彼亡き後もクラブの活動を継続し、志が引き継がれている。

誰にでも優しく誠実な康夫さんの突然の訃報には、多

くの人々が驚き、早すぎたご逝去を惜しんだ。もっとやりたいことが沢山あったらうに。今となっては、向こうでも好きなチョウを思いっきり愛でながら楽しく過ごしていることを信じるばかりである。ご冥福をお祈りします。(太田正文記)

#### 引用文献

- 青森県 (2020) 青森県の希少な野生生物－青森県レッドデータブック (2020年版)－, 鱗翅目. 青森県.
- 小館昭示 (2019) 青森県夏泊半島における日本北限のヒメギフチョウ本州亜種. *Celastrina* 54: 33-39. 津軽昆虫同好会.
- 小館昭示 (2022) 2020年超暖冬の青森市浅虫森林公園におけるヒメギフチョウの生態－青森県初見日更新－. *Celastrina* 56: 3-8. 津軽昆虫同好会.
- 小館昭示 (2023) 22年ぶりに発生地復活した青森市入内のヒメギフチョウ. *Celastrina* 57: 15-24. 津軽昆虫同好会.
- 三橋渡 (2016) 青森市稲山でのヒメギフチョウの記録と一考察. *Celastrina* 51: 48-49. 津軽昆虫同好会.
- 下山健作 (1982) つがるの蝶. 299pp. 青森県図書教育用品株式会社.
- 白水隆 (2006) 日本産蝶類標準図鑑. 336pp. 学研
- 上原一恭 (2016) 2016年の青森市及び平内町のヒメギフチョウについて. *Celastrina* 51: 1-2. 津軽昆虫同好会.
- 上原一恭 (2017) 2017年の青森市及び平内町でのヒメギフチョウについて～本州最北記録を含む～. *Celastrina* 52: 22-25. 津軽昆虫同好会.
- 上原一恭 (2019a) 2018年の青森市及び平内町のヒメギフチョウについて. *Celastrina* 53: 6-8. 津軽昆虫同好会.
- 上原一恭 (2019b) 青森県平川市における2019年のヒメギフチョウの記録. *Celastrina* 54: 28. 津軽昆虫同好会.
- 上原一恭 (2019c) 2019年の青森市及び平内町でのヒメギフチョウについて～本州最北記録を更新～. *Celastrina* 54: 29-32. 津軽昆虫同好会.
- 上原一恭 (2020a) 2016-2019年の青森県黒石市二庄内におけるヒメギフチョウについて. *Celastrina* 55: 1-2. 津軽昆虫同好会.
- 上原一恭 (2020b) 2020年の青森市及び平内町のヒメギフチョウについて. *Celastrina* 55: 3-4. 津軽昆虫同好会.
- 上原一恭 (2022) 2021年の青森市及び平内町のヒメギフチョウについて. *Celastrina* 56: 1-2. 津軽昆虫同好会.